

東海村まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価

1 東海村の人口動態について

本村の総人口は、37,700人から37,900人程度を推移しており、転入者数が転出者数を上回る社会増の状況により、自然減の中でも、微増となっている。

また、令和4年度の状況としては、自然減が前年度より若干回復し、社会増は前年度と比較して約2倍で増加傾向にあり、結果として人口の維持に繋がっている。

＜東海村の総人口推移＞ ※各年10月1日現在

項目	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
総人口(人)	37,616	37,702	37,891	37,920	37,891

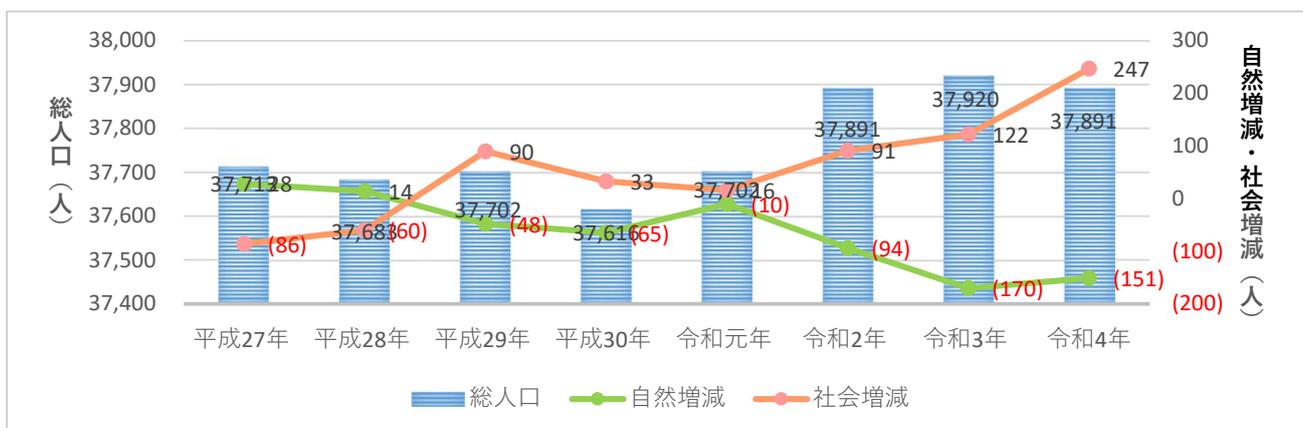
(出典：茨城県常住人口報告書)

＜東海村の人口動態推移＞ (各年1月～12月集計)

項目	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)
出生(人)	281	293	261	244	242
死亡(人)	346	303	355	414	393
自然増減(人) …a	-65	-10	-94	-170	-151
転入(人)	1,477	1,393	1,385	1,381	1,598
転出(人)	1,444	1,377	1,294	1,259	1,351
社会増減(人) …b	33	16	91	122	247
人口の増減数(人) …a-b	-32	6	-3	-48	96
合計特殊出生率(%)	1.43	1.56	1.34	1.34	1.35

(出典：茨城県常住人口報告書、東海村合計特殊出生率統計)

＜東海村の人口動態推移＞



(出典：茨城県常住人口報告書)

2 東海村まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）の評価について

基本目標1 多様な世代から選ばれるまちづくりの推進

(1) 主な取組と評価

- 地域おこし協力隊が、未来ビジョン推進に向けて実施した亀下区・緑ヶ丘区の地域内の活動（地域の課題解決や地域イベントの開催等）を支援した。（令和元年度～令和3年度）
- 「ふるさと納税推進事業」により、村の特産品等による魅力発信を行い、村外から村を応援してくれる寄附者を増やすことができた。（令和元年度～）
- 「東海村つながるプロジェクト」では、特に若い世代の「ひとづくり」や「つながりづくり」を進めることにより、村内外のキーパーソンのつながりを創り出し、関係人口の増加を図ることで、「行ってみたい」「住んでみたい」まちの推進を行っている。（令和2年度～）令和5年度からは、新たな取組として、「高校生まちづくりスクール」の開催や「まちづくりチャレンジ応援助成金」等の取組を始めている。
- 「歴史と未来の交流館」が開館し、誰もが村の歴史や自然を学び、郷土への愛着を深める場所や機会を提供することで、歴史、自然、文化等の地域資源を活かしたまちの魅力を創出することができた。（令和3年度～）
- 公共交通の事業として、路線バスの新たなバス停の設置や「東海村デマンドタクシー『あいのりくん』」のWeb予約をスタートさせ、移動しやすいまちづくりとして、公共交通の利便性向上に努めた。（令和3年度～）
- 移住者を増加させる施策として「とうかい住まいる応援事業」を開始し、移住者を積極的に受け入れるまちづくりを推進している。（令和4年度～）
- 「ウォーカブルなまちづくりの推進」として、ウォーキングを軸とした“楽しい”健康まちづくりを推進していくため、歩くきっかけづくり、定着化させる仕組みづくり、歩きたくなるまちづくりに取り組んでいる（令和5年度～）
- 「シティプロモーション推進事業」として、まちへの愛着や誇り、当事者意識といった「シビックプライド」を醸成しながら、地域の担い手としてまちへの参画を促していくため、シティプロモーション指針の策定や住民ワークショップの開催等に取り組んでいる（令和5年度～）
- 「6・3・3plus とうかいっ子育成プロジェクト」として、村で生まれ育った子どもたちの村への愛着や誇り、郷土愛を醸成し、持続可能な村づくりに繋げていくため、村内の自然・歴史・人等のあらゆる地域資源を活用し、小学校から青年まで（6+3+3+ α ）の子ども達を対象とした連続性のある体験プログラムの構築と実践に取り組んでいる（令和5年度～）

(2) 指標の進捗状況

	項目	基準値	目標値	実績値		
				R2	R3	R4
数値 目標	令和2年から令和6年までの純移動数(単位:人)	-7 (H27-R1)	250 (R2-6)	91	213	460
	東海村に住み続けたいと考えている住民の割合 (単位:%)	71.5 (H30)	76.5 (R6)	総合計画まちづくりアンケート 調査実施時に測定		
1-1	東海村は住みよいかと考えている住民の割合 (単位:%)	45 (H30)	50 (R6)	総合計画まちづくりアンケート 調査実施時に測定		
	中学生の職業体験に協力する企業のうち村内企業の割合 (単位:%)	100 (H30)	現状維持 (R6)	職業体験 未実施	100	97
1-2	転入超過数(単位:人)	-7 (H27-R1)	250 (R2-6)	91	122	247
	路線バスの延べ利用者数(単位:人)	79,642 (H30)	86,000 (R6)	60,100	69,920	80,099
	公共交通に対する満足度(単位:%)	30.9 (H30)	41.0 (R6)	総合計画まちづくりアンケート 調査実施時に測定		
	移住施策を活用して移住した人数(単位:人)	0 (H30)	5 (R6)	0	0	116

基本目標2 若い世代が安心して子育てできるまちづくりの推進

(1) 主な取組と評価

- 安心して子どもを預けられるよう、新たに「東海村立けやきの杜保育所」や「私立小規模保育事業所」を整備した。(令和2年度)
- とうかい版ネウボラの推進や医療費助成等の継続した行政サービスを展開し、子育て世代に優しいまちづくりを進めている。
- 「出産・子育て応援パッケージ」として、妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型相談支援と経済的支援(出産・子育て応援ギフト支給事業)をパッケージ化して実施することで、伴走型相談支援の実効性を高めている。(令和5年度～)

(2) 指標の進捗状況

	項目	基準値	目標値	実績値		
				R2	R3	R4
数値 目標	安心して子どもを産み育てられる満足度 (単位：%)	54.1 (H30)	60.0 (R2-6)	総合計画まちづくりアンケート 調査実施時に測定		
	令和2年から令和6年までの累計出生数 (単位：人)	1,591 (H27-R1)	1,500 (R6)	261	505	747
2-1	待機児童数(単位：人)	9 (H31)	0 (R6)	2	0	0
	希望したときに、希望した保育サービスが利用できる 人数の割合(単位：%)	54.9 (H30)	60.0 (R6)	子育て支援に関するアンケート 調査実施時に測定		
	女性従業者数(単位：人)	5,683 (H28)	5,800 (R6)	経済セン サス 活動調査 未実施	5,698	経済セン サス 活動調査 未実施
2-2	子育ての環境や支援への満足度(単位：%)	54.2 (H30)	60.0 (R6)	総合計画まちづくりアンケート 調査実施時に測定		
	地域の子育て支援に関する情報が得やすいと思う割 合(単位：%)	78.6 (H30)	現状維持 (R6)	子育て支援に関するアンケート 調査実施時に測定		
	恵まれた学校環境で子どもの能力を伸ばせる教育が 受けられる満足度(単位：%)	38.7 (H30)	50.0 (R6)	総合計画まちづくりアンケート 調査実施時に測定		
	公園や運動施設・グラウンドなどが利用しやすい満 足度(単位：%)	50.0 (H30)	63.0 (R6)	総合計画まちづくりアンケート 調査実施時に測定		

基本目標3 誰もが生き生きと働き、活躍できるまちづくりの推進

(1) 主な取組と評価

- 産学官が連携した原子力技術者等の育成・確保を推進するため、「原子力人材育成・確保協議会」がイベントを開催し、イベントを通して就職した人材を平均8名（令和2年度～令和3年度）確保している。
- 歴史と未来の交流館の開館を契機に、「とうかい子どもキャンパス事業」を実施し、未来を担う子どもたちへの探求心を育むことができた。（令和3年度～）
- 新型コロナウイルス感染症の拡大に関連した支援として、令和2年度から「水道料の減免」や「事業者の家賃補助」、「キャッシュレス決済ポイント還元事業」や「感染症予防対策支援補助金」等を実施し、地域経済への影響を軽減させる事業を展開した。
- 「スマート農業推進支援事業」として、生産及び加工現場への先端技術（ロボット技術、ICT等）導入にかかる経費の補助を開始した。（令和5年度～）
- 「宇宙線ミュオンによる古墳探求プロジェクト推進事業」として、J-PARCセンターや茨城大学等と連携した、宇宙線ミュオンを利用した古墳の調査、教育プログラムを展開している。（令和5年度～）

(2) 指標の進捗状況

	項目	基準値	目標値	実績値		
				R2	R3	R4
数値 目標	従業員数（単位：人）	17,164 (H28)	17,700 (R6)	経済セン サス 活動調査 未実施	17,387	経済セン サス 活動調査 未実施
	50歳未満における農業就業人口（単位：人）	38 (H27)	現状維持 (R6)	35	農林業センサス調査 未実施	
3-1	原子力人材育成・確保協議会が主催するインターンシップの定員充足数（単位：％）	25.6 (H30)	50.0 (R6)	80.0	未実施	69.5
	原子力人材育成・確保協議会が主催するイベントをとおして就職した人数（単位：人）	5 (H30)	10 (R6)	9	7	14
	学術研究、専門・技術サービス業の従業者数（単位：人）	4,280 (H28)	5,000 (R6)	経済セン サス 活動調査 未実施	4,130	経済セン サス 活動調査 未実施
	理科が好きと回答した中学3年生の割合（単位：％）	69.0 (H30)	74.0 (R6)	全国学 力・学習 状況調査 未実施	全国学 力・学習 状況調査 設問なし	64.7
3-2	経営相談延べ件数（単位：件）	536 (H30)	590 (R6)	240	208	240
	創業支援により創業した件数（単位：件）	6 (H30)	12 (R6)	4	6	11
	農業次世代人材投資資金（旧：青年就農給付金）を受給した新規就農者数（単位：人）	3 (H27-R1)	5 (R2-6)	0	0	0